

## 第58回 北海道小学校長会 総会・研修会 就任挨拶



第58回北海道小学校長会総会・研修会の開催にあたり、ただいま、ご承認・決定をいただいた平成27年度の役員を代表して一言ご挨拶申し上げます。

はじめに、公務ご多用にもかかわらず、北海道教育委員会 教育長 立川 宏様、北海道都市教育長会 会長 町田隆敏様、北海道PTA連合会 会長 佐藤 彰様をはじめ、北海道小学校長会が、日頃よりご支援をいただいております教育関係団体の皆様、そして、歴代の道小会長及び役員の皆様方のご臨席を賜りましたことに、厚くお礼申し上げます。

また、新年度が開始されてまだ1か月余りのお忙しい時期に、全道各地より多くの代議員・理事の皆様にお集まりいただいたことに、心から感謝申し上げます。

ご承知のとおり、北海道小学校長会は、「正論を以て、正道を歩む」という理念の下、校長の職能の向上と北海道教育の振興・発展を図ることを目的に半世紀をこえる活動を展開してきた。こうした歴史と伝統ある道小の役員としての任をいただき、役員一同、責任の重さを痛感している。

先達が築き上げてくださってきた業績や教育に対する熱き思いを真摯に引き継ぐとともに、地区校長会との連携と結束の下、北海道教育の質の向上を目指して、ますます発展していくよう、全道1088名の会員の皆様とともに、全力を尽くす所存である。皆様のご指導とご支援を心からお願い申し上げます。

さて、会長就任に当たって一言ご挨拶申し上げます。

10年前、平成17年に当時早来町、現在の安平町立早来小学校の校長先生が、北海道教育振興会の広報紙「教育振興」の随想に寄稿された文章の中にすてきな言葉があった。

それは、「子どもの瞳に光あれ、教師の心に喜びあれ、校長の顔に自信あれ、そして学校に活力あれ！」というものだった。この言葉は新任校長として赴任する先生に、前任校の教頭時代の校長先生が、学校経営実践の座標軸として取り組み、学校像として目指すものとして送ってくださった言葉であると書かれていた。

この短い言葉の中に、「すべての子どもたちが、楽しく学校に登校し、生き生きと学習に生活に取り組む姿、すべての教職員が、多忙の中にも、強い使命感をもち、生きがいを感じながら教育に取り組む姿、すべての学校の校長が自信をもって学校経営に取り組む姿、そして、学校全体が、「チーム学校」として家庭や地域、関係機関と連携して進む学校像」を、表していると思った。

今も昔も、学校の規模や地域に関わらず、それぞれの地区、それぞれの学校の中で、校長の学校経営にかける情熱が、脈々と引き継がれているという事実に感動したのである。

しかしながら、いつの時代も教育改革の荒波は激しく、平成27年3月4日には、政府の教育再生実行会議による第6次提言「学び続ける社会，全員参加型社会，地方創生を実現する教育の在り方について」、27日には、学習指導要領の一部改正が発表され、特別の教科道徳として道徳科がスタートする準備もできたところである。

加えて、先週の金曜日、平成27年5月8日には、財務省が公立小中学校の教職員数を、平成36年度までの9年間で、平成27年度の約6%に当たる約4万2千人削減するとの報道があった。

このような中、時代に流されてしまうことのないよう、北海道小学校長会は、北海道中学校長会との強い連携のもと、「新しい時代を見据えた本道教育の質の向上について「チーム北海道」として取り組む旨の提言をまとめているところである。

内容は、新たな教育改革の動きの中では、「授業改善」が最も重要であるととらえ、「授業改善」のためには、「学ぶ習慣のある学級づくり」と、「教員の授業力の向上」に向けた条件整備が必要であるというものである。

さらにそのために、北海道小学校長会と北海道中学校長会が、北海道教育委員会、北海道都市教育長会、北海道PTA連合会をはじめ、教育関係他団体の皆様や民間教育団体等と協働し、未来を見据えた視点から、子ども像や目標を共有し、それぞれの立場からの活動と合わせて、「チーム北海道」としての意識を強くもって進んでいくことが今大切であると主張している。

今週末には、要望書とともに、北海道教育委員会へ提言書をお持ちする予定である。

さて、北海道小学校長会は、今年度、現在の状況から将来に何が起こるか予想し、物事の本質を見定め、道中、道教委、道P連などの教育団体等と協働し、どんなに困難な状況であろうとも、明日の社会を逞しく生き抜く子どもを育むことを大切にする決意から、「未来を見据え、チーム北海道として進む道小」をキャッチフレーズに掲げ、本道教育の具体的な問題や課題に対して積極的に取り組もうと考えている。

この「未来を見据え、チーム北海道として進む道小」の理念の下、子どもたちの成長と本道の教育に責任をもつ校長会として、全道の校長先生方と平成27年度の活動を推進してまいりたいと考えている。



先に紹介した道小の先輩の言葉になぞらえ、「子どもの瞳に光あれ、教師の心に喜びあれ、校長の顔に自信あれ、そして北海道小学校長会に活力あれ、さらに、「チーム北海道」に未来あれ！」と考えながら行動していくので、今後も皆様方のご指導ご協力を心からお願い申し上げます。

終わりになるが、ご来賓の皆様におかれては、本会の発展のために一層のご支援をお願い申し上げますとともに、ここに参加しているすべての皆様のますますのご健勝をお祈り申し上げます、私の挨拶とする。